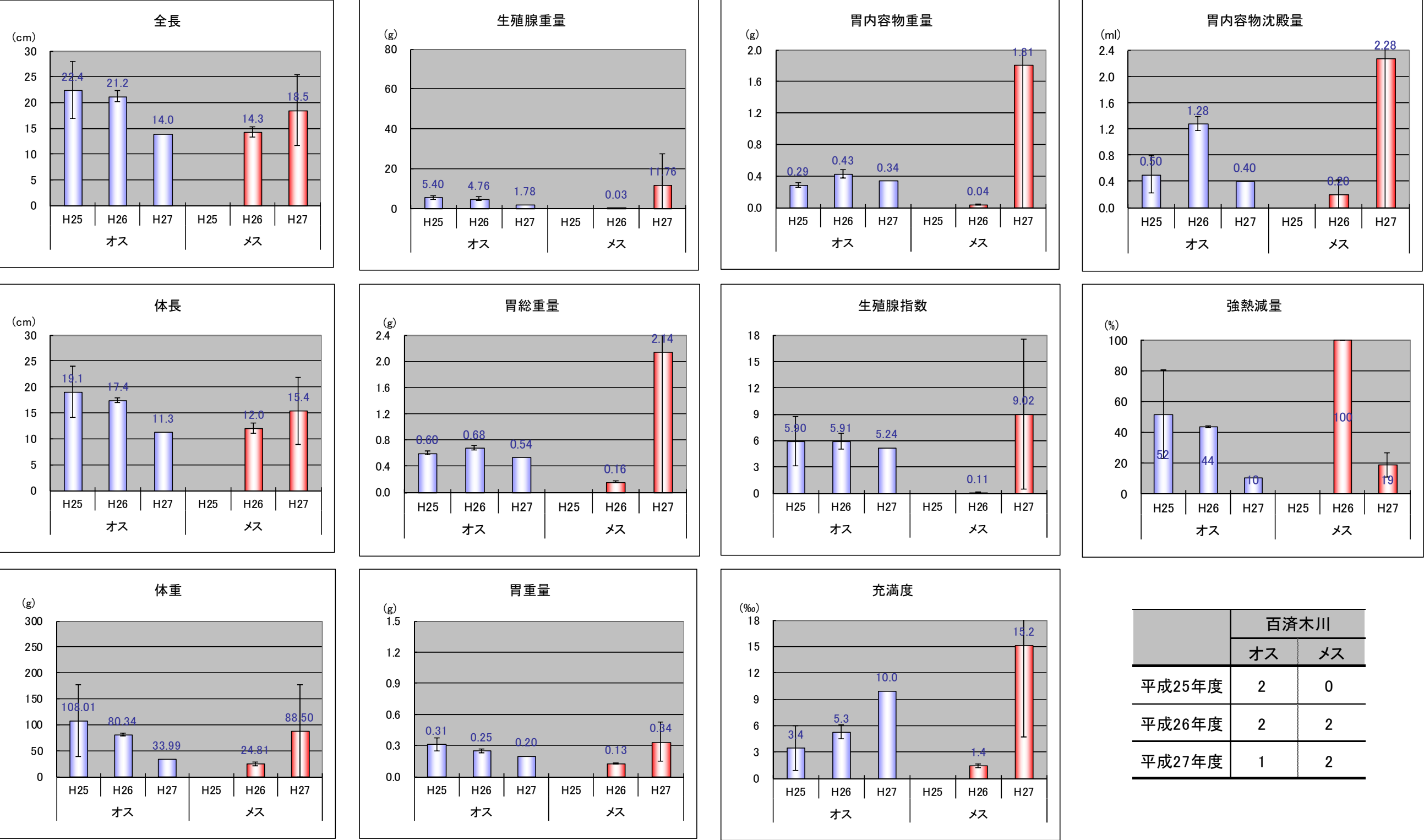


3) 動物 (アユの胃内容物)

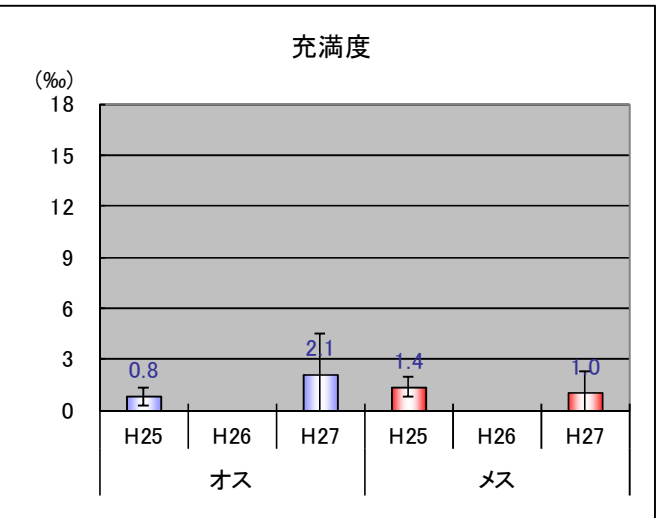
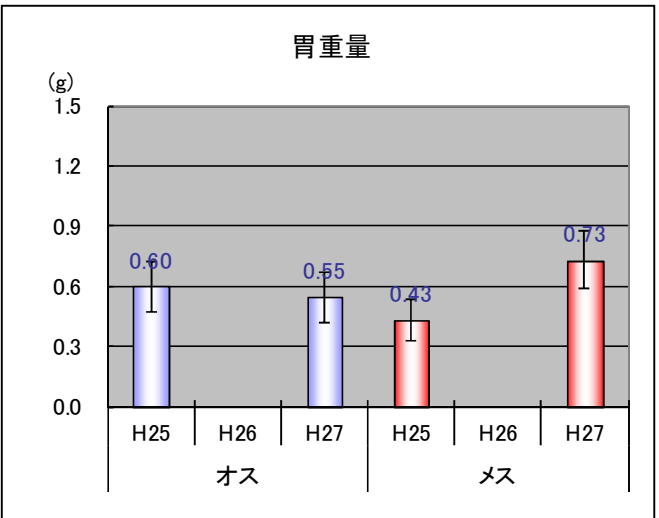
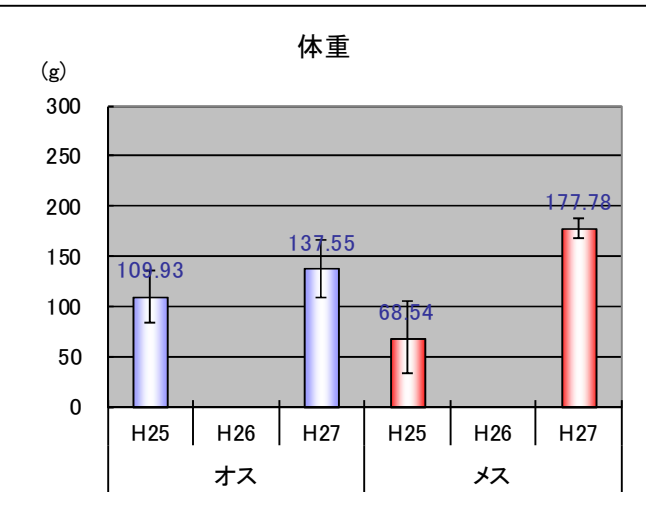
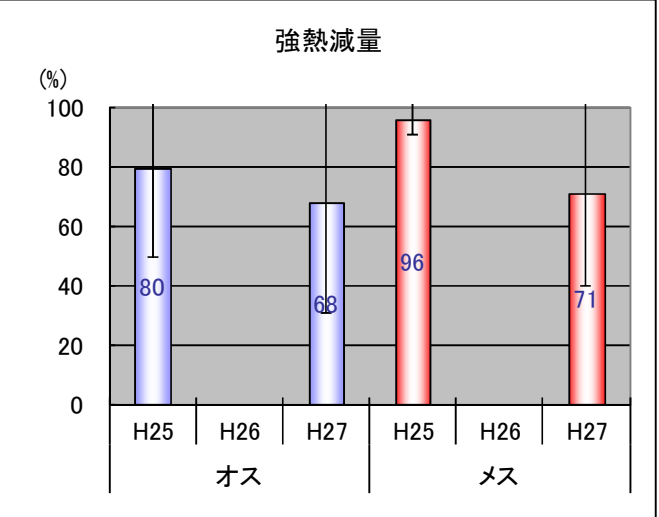
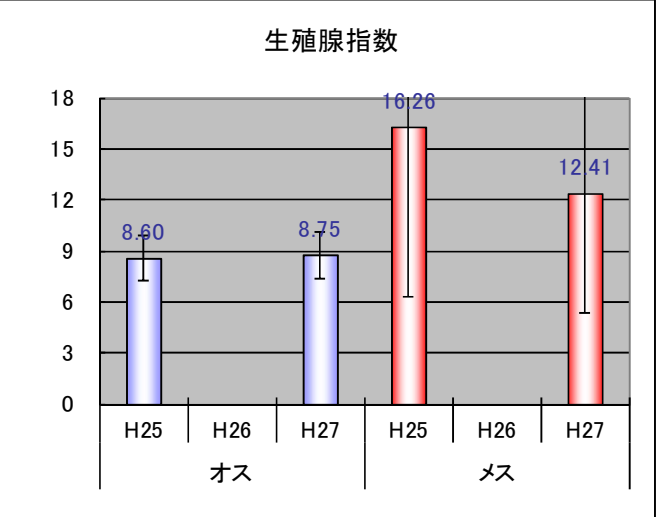
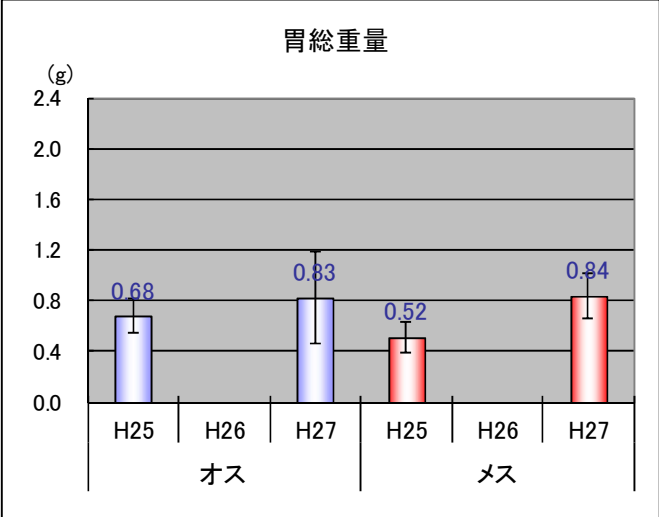
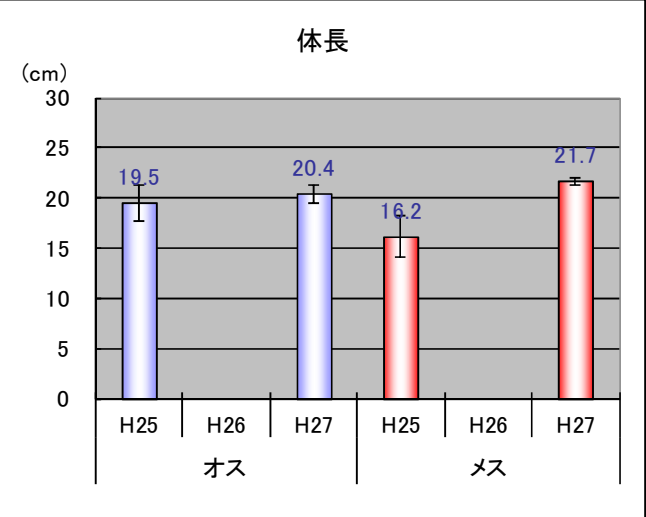
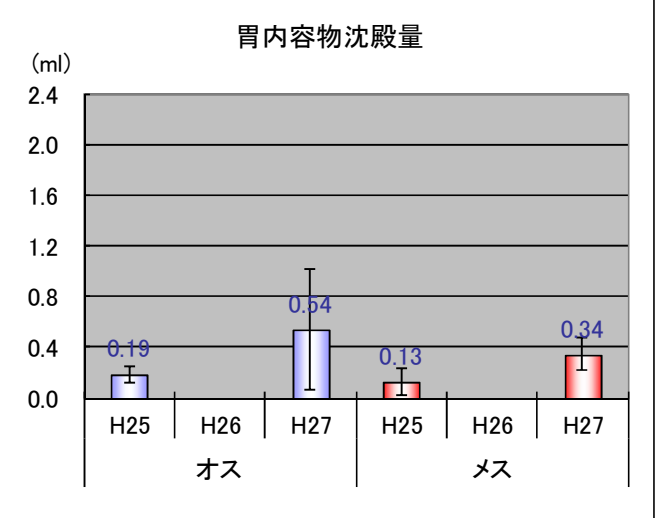
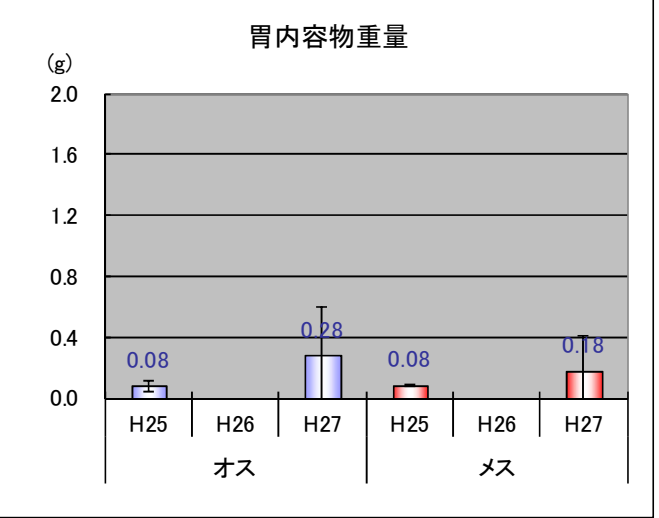
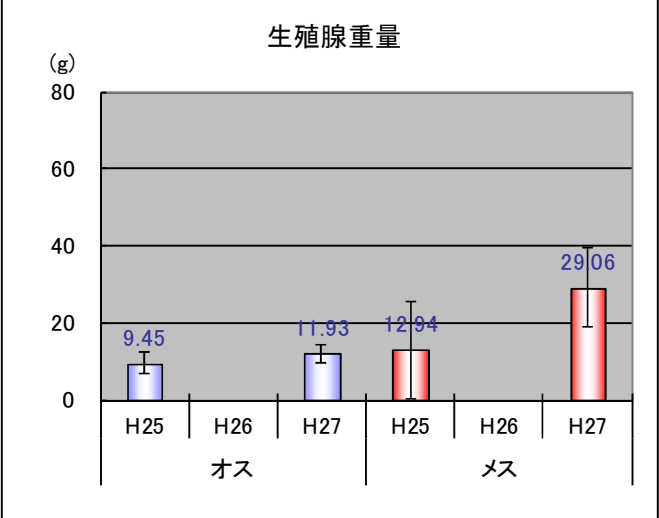
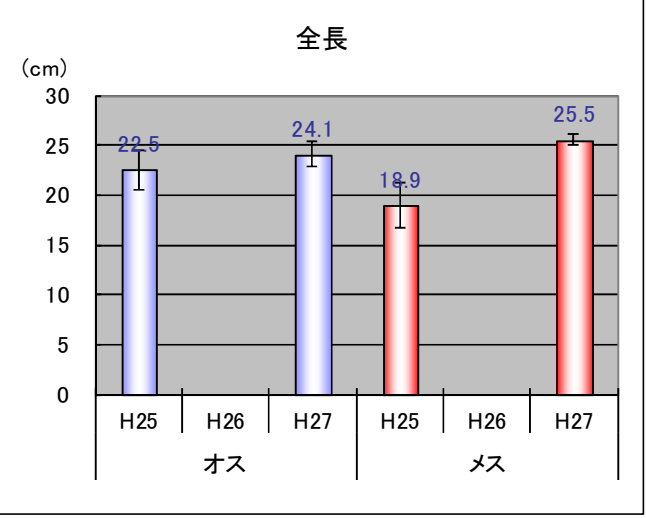
【参考資料 I -274参照】

評価項目	視点	平成 27 年度の調査結果概要	評価概要
みお筋撤去前後のアユの 成育変化状況	胃内容物の変化 状況把握	・百済木川では、H25 年度～H26 年度と比較して、オスは全長等が減少、メスは全長等が増加している傾向がみられた（注：ただし、サンプル数が少ない）。 ・ダム上流の支川の百済木川は、ダム下流の下代瀬及び道の駅坂本と比較して、全長等が小さい傾向がみられた。	・百済木川の経年変化でオスとメスで増減傾向が異なる原因は不明である。 ・支川の百済木川が下流の本川と比較して全長等が小さいのは、河川の規模が小さく、餌となる付着藻類が少ないことが考えられる。 ・ただし、標本数が少なく、かつ自然状態の個体群でも全長サイズ等の変動が存在することから、今後の調査結果を蓄積して評価する。

【百済木川】



【下代瀬】

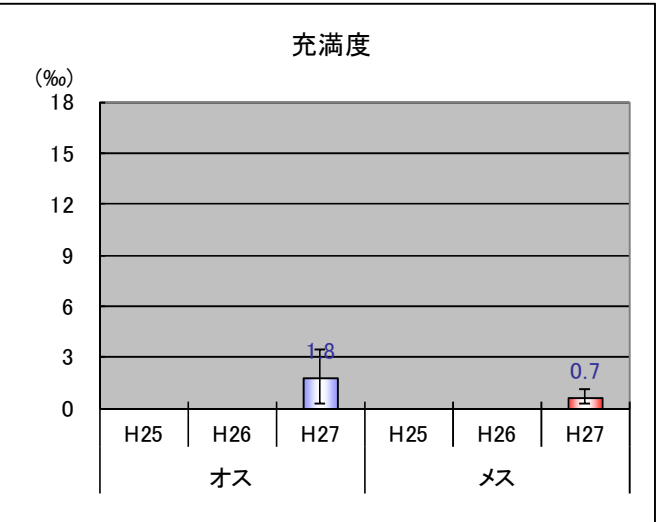
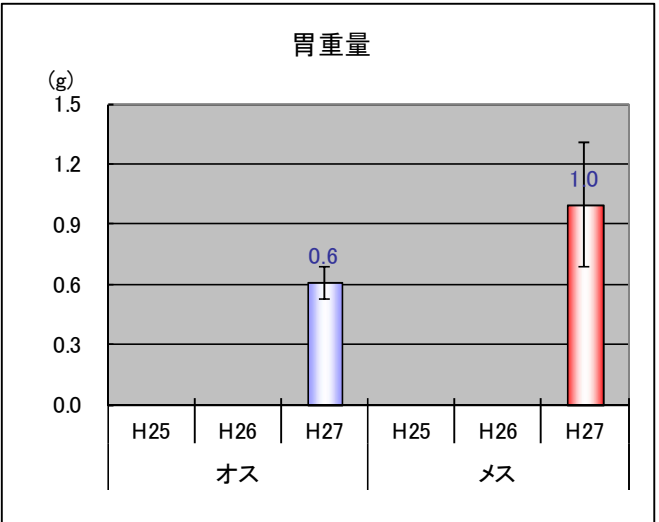
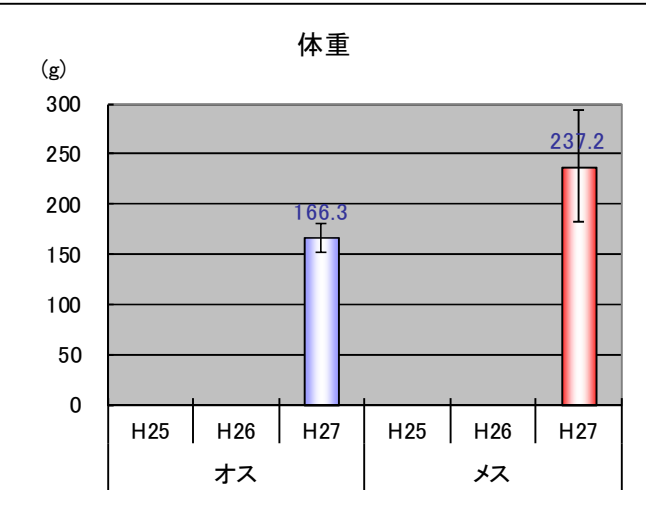
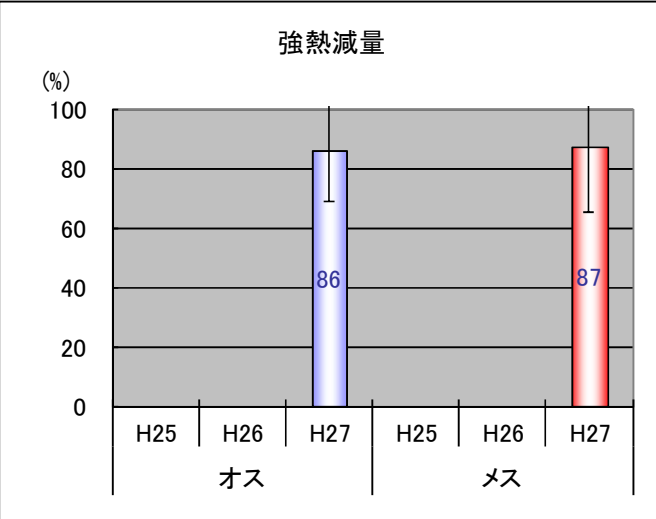
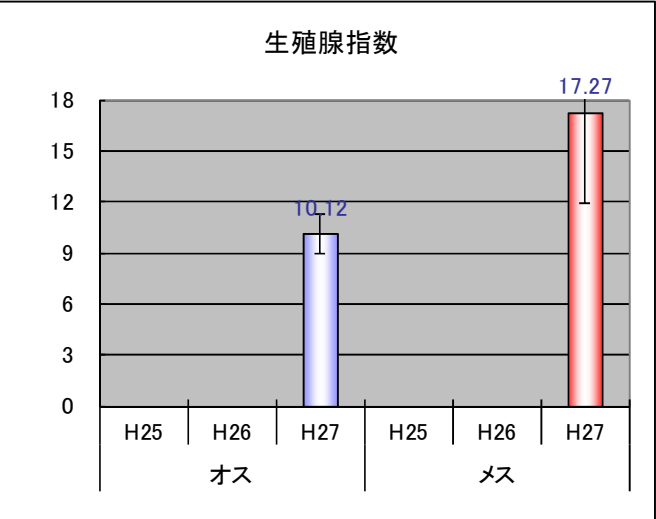
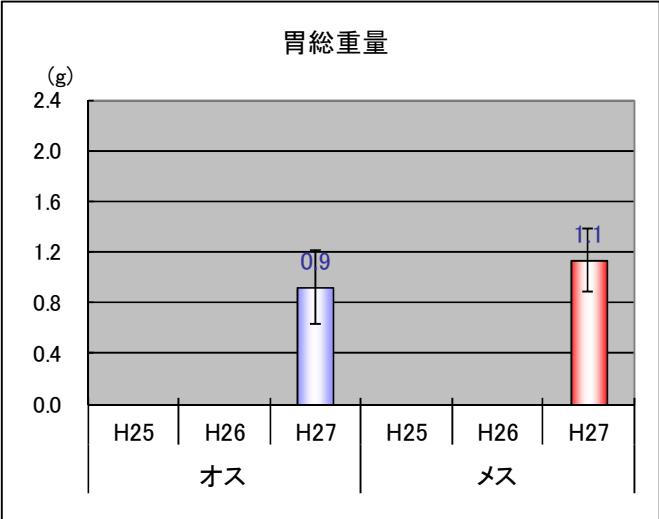
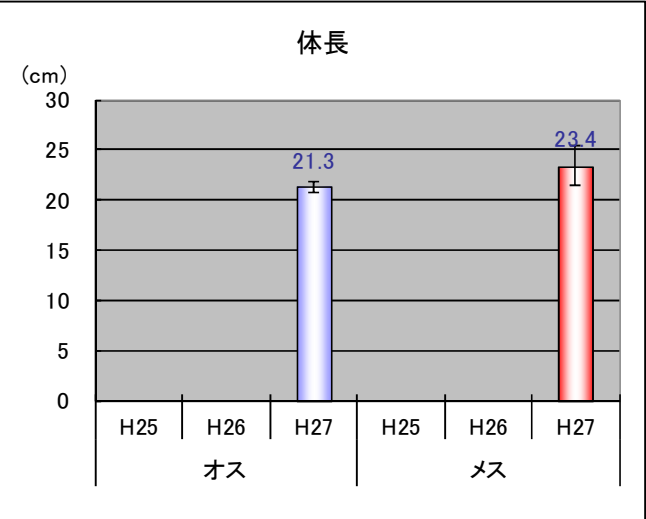
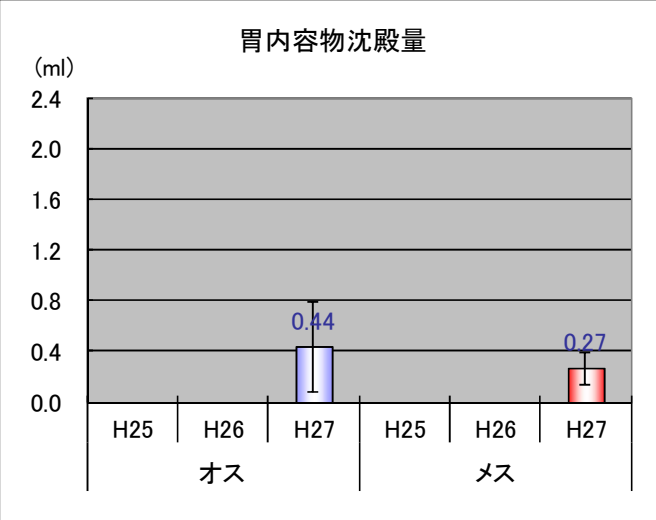
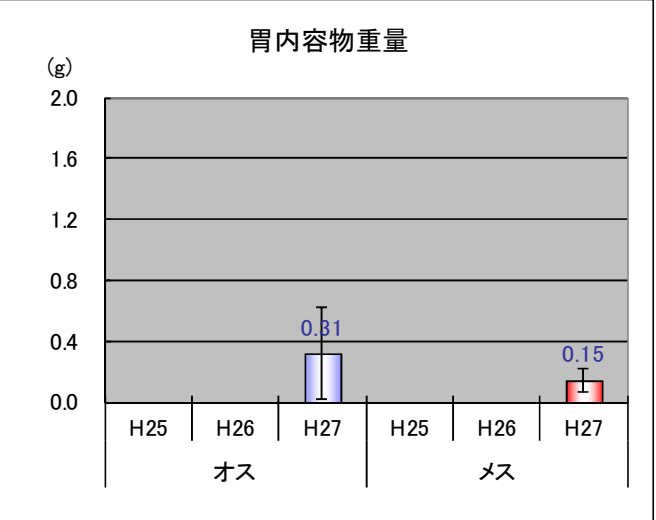
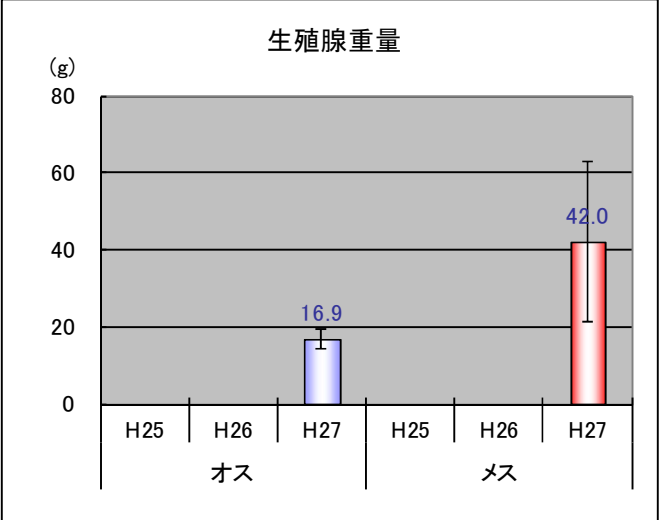
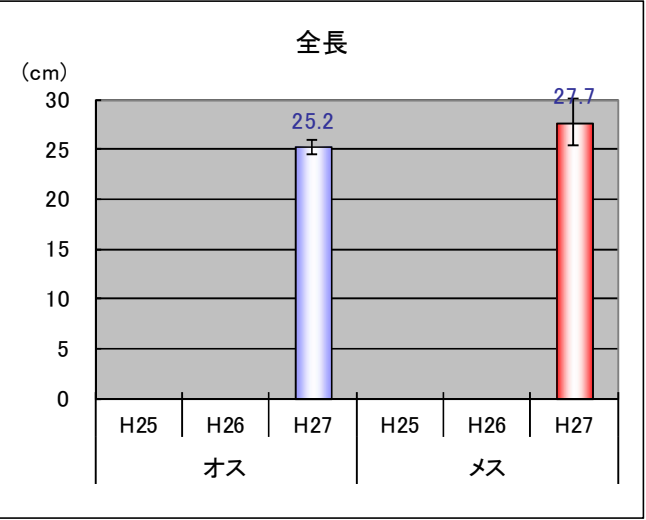


サンプル数

	下代瀬	
	オス	メス
平成25年度	8	2
平成26年度	0	0
平成27年度	4	6

注: サンプル採取日
 ・平成 25 年度: 10 月 20 日
 ・平成 26 年度: 10 月 2 日
 ・平成 27 年度: 10 月 18 日

【道の駅坂本】



サンプル数

	下代瀬	
	オス	メス
平成25年度		
平成26年度		
平成27年度	7	3

注：サンプル採取日
・平成 27 年度：10 月